

(3) 1987年C&C賞受賞者

猪瀬 博博士



- 東京大学名誉教授
- 学術情報センター所長

タイムスロット入替交換方式の創案、相互同期方式の開発等により広くデジタル通信網の技術的基礎確立に対する独創的貢献

略歴と主たる業績

猪瀬博士は東京大学より工学士及び工学博士の学位を、それぞれ昭和23年（1948）及び昭和30年（1955）に受領された。昭和36年（1961）7月より昭和62年（1987）3月まで東京大学工学部電子工学科の教授を務め、その間工学部長、大型計算機センター長、文献情報センター長などを歴任された。昭和62年（1987）4月からは文部省の学術情報センター所長を務めておられる。なお、東京大学名誉教授の称号を受けられた。

猪瀬博士は、主として、デジタル通信技術及び道路交通管制に関する独創的な数々の研究によって、第2回マルコーニ国際学術賞、日本学士院賞、電子通信学会功績賞など多数の賞を受けられた。そして、昭和60年（1985）には、日本政府により、「文化功労者」としての名誉ある顕彰を受けられた。

同博士はまた、米国電気電子学会（IEEE）のフェロー、全米科学アカデミー、全米工学アカデミー及びアメリカ哲学協会の外国人会員に選出されている。さらに情報処理学会、電気学会、電子情報通信学会、テレビジョン学会の名誉会員に選定されている。

同博士は現在、経済協力開発機構（OECD）の科学技術政策委員会の議長をつとめており、また電子情報通信学会及び情報処理学会の会長も歴任された。

同博士は、主として電気通信や情報処理に関連する日本政府の諸活動に関与し、重要な任務を果たしてこられた。また昭和53年（1978）から昭和57年（1982）の間、文部省科学官をつとめ、また昭和54年（1979）以来、科学技術庁参与を、昭和58年（1983）以来、外務省参与をつとめられている。さらに、通商産業省の産業構造審議会及び産業技術審議会、郵政省の電気通信審議会、文部省の学術審議会、運輸省の運輸政策審議会などの委員をつとめられている。

同博士は昭和31年（1956）から昭和33年（1958）の

間、ペンシルバニア大学研究員及びベル電話研究所コンサルタント、昭和44年（1969）にはミシガン大学客員教授、昭和49年（1974）には、アーヘン工科大学客員教授、昭和56年（1981）にはカリフォルニア工科大学シャーマンフェアチャイルド特別研究所員としてそれぞれ海外での活発な研究活動を行った。

同博士は、150編以上の論文を日本及び外国の専門誌に発表しており、また“An Introduction to Digital Integrated Communication Systems”，“Information Technology and Civilization”（J.R.Pierceと共著）、“Road Traffic Control”（浜田喬と共著）などの英文著書を含む数巻の優れた著書も出版されている。